

委員会

今年度は、「市民環境教育委員会」委員、「人口減少対策特別委員会」副委員長を務めています。



市民環境教育委員会 … 市民局・区役所・環境局・教育委員会が所管する事項を調査・審査する委員会です。
人口減少対策特別委員会 … 喫緊の課題である人口減少及び地方創生に対応するため、定住・交流人口の増加策及び全ての市民がいきいきと暮らせるまちづくりに関する協議・討議（意見交換）・提言等を行うことを目的に設置された特別委員会です。

特別委員会視察～千葉県流山市～

静岡市は 2025 年まで人口 70 万人維持を掲げていますが、残念ながらその数字を切ってしまいました。様々な対策が必要だということで、実態調査に基づいた施策が考えられ提案されています。減少の一番の原因は、若者の都会への進学、特に若い女性が県外に進学した場合、戻ってこないということです。男性も、なかなか希望する就職先が市内に無く、戻るに戻れないという現状があります。



委員会では先進地流山市を視察しました。「母になるなら流山」のキャッチフレーズで、特に働き盛りの 30 代を中心に人口増を実現しています。又、企業誘致留置では、シティプロモーションではなく、シティマーケティングを進めていることに驚きました。是非、魅力ある静岡市を積極的に PR するセクションを設置すべきだと委員から提案されました。人口減少を抑えるには、産みたいだけの子どもの数を安心して産める環境整備が必要です。保護者の経済的負担軽減など、子育てしやすい環境整備と働く場の確保が出来れば、自然環境がよく、交通の便も良い静岡市は人口増に結び付けられるのではないのでしょうか。



に結び付けられるのではないのでしょうか。

様々な研修会に参加しています

■浜松市議会議員との意見交換会会議



志政会と浜松市議会「市民クラブ」議員との意見交換会議を開催。共通の課題である企業留置・企業誘致の方策、医師確保、中学校の部活動問題等のテーマについて話し合いを行い、活発な意見交換が行われました。

■「働き方改革」研修会（講師：(株)吉原精工 吉原博会長）

(株)吉原精工は、金属加工会社であるが、優秀な人材を集めるため、「残業ゼロ」にする働き方改革を決意。効率化が図られ、現在は残業ゼロで年 2 回のボーナス 100 万円、年 3 回の 10 連休がある。吉原会長は「まずやってみること」と決断する事の重要性を強調した。



市民環境教育委員会

Q 「一般廃棄物処理施設整備基金積立金」について
 静岡市が西ヶ谷清掃工場の余剰電力の売買契約を結んでいた日本ロジテック協同組合が破産し、債権者である市への配当金 9,924 万円を積立金へ増額するというもの。どのような再発防止策を講じるのか。

A 電力自由化に伴い一般競争入札で決定した。他社との比較で倍以上の収入を得ており、倒産するとは思えなかった。今回、庁内で検証委員会を立ちあげ管理していく。チェック体制を強化し、毎月債券台帳を作るなど納付状況をはっきりさせていく。

Q 「清水清掃工場解体工事」について
 清水清掃工場跡地にストックヤードを建設するのに伴い、清掃工場の解体工事を行うというもの。近くに一般住宅があるが、安全面は大丈夫か。ダイオキシンやアスベストなどの調査はされているのか。

A 飛散しない様、十分に注意して工事を行う。入札の技術者の中にアスベスト処理資格者を入れている。

Q 「町の新設」について
 手越の一部地域を向手越 1 丁目及び向手越 2 丁目に変更するというもの。変更はどのように行われるのか。

A 町の変更は、各自治会からの要望で住居表示の説明を行い、代表者による住居表示推進委員会を設立し、検討して決めていく。行政主導ではない。

佐藤せい子 (志政会所属)

議会だより

H30 年 7 月発行
 発行／静岡市議会志政会
 編集／志政会 広報部
 〒422-8004
 静岡市駿河区国吉田 4-25-19
 TEL：054-267-2000
 URL：satoseiko.com



一般会計 6 月補正予算 18 億 8,922 万円を追加 多世代交流型住宅や日本平公園整備などに

■多世代交流型住宅整備に向けた調査 … 800 万円

静岡市は、サービス付き高齢者住宅や一般向け賃貸住宅を一つの建物に設けた「多世代交流型住宅」を駿河区の市有地に整備する方針です。市が用地を貸与し、民間活力を取り込む民設民営方式での整備を目指しています。多世代交流型住宅は、上層階に子育て世帯や学生の住む一般向け住宅と、安否確認や生活相談サービスのある高齢者用住宅を配置。低層階には交流スペースや、子育て・介護関連施設の入居を想定し、世代間や地域の交流を生む住環境を整えることで、市が周辺エリアを進めるまちづくり構想「生涯活躍のまち（CCRC）静岡」を促進します。6 月補正では、民間事業者の公募に向け、市場性や地域ニーズの調査費用が計上されました。2020 年度の住宅完成を目指しています。



高齢者向け住宅
 + 子育て世帯・学生向け住宅等



介護サービス事務所、子育て支援、薬局等

居住者や地域の方の交流スペース等

「CCRC静岡」とは…

中高年が健康で積極的に生活できるコミュニティをつくり、地域活力維持につなげる構想。市はこの地区を地域福祉と多世代交流に重点を置く「共生地区」に位置づけており、H30 年 6 月南部図書館内に地域交流拠点を開設。来年度には児童発達支援センターを新設するなど、構想実現のための環境整備が進められている。

■道路案内標識の整備 … 5,650 万円



訪日外国人をはじめ、全ての利用者にわかりやすい道案内の実現に向け、一般道路上の案内標識に高速道路の路線番号を表示します。

【整備箇所】
 静岡 IC・清水 IC を中心とする半径 5 km 圏内 103 基

高速道路の路線番号を表示した案内標識



■日本平公園の整備…1億2,200万円



「日本平山頂展望施設」は平成30年10月頃完成予定

日本平の素晴らしい四囲の眺望やその文化的価値をより魅力的に発信する「日本平山頂展望施設」が、県市共同で整備されています。「シンボル施設」を県が、八角形の回廊から四方の眺めを楽しめる「展望回廊」を市が整備しています。

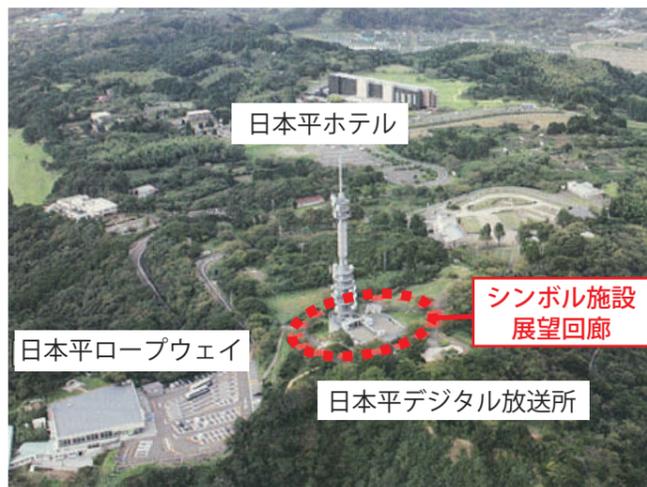


昼には富士山をはじめ、南アルプス、駿河湾、三保半島を望む大パノラマ、夜には静岡市街や清水港の美しい夜景を楽しむことができます。平成30年10月頃の完成に向け、6月補正では、山頂部の雨水排水設備工事やアクセス道路の用地買収、平野ゾーンの用地買収・造園工事等の予算が計上されました。



日本平からの夜景

【整備箇所】



■橋りょう整備事業・道路自然災害防除事業…1億5,720万円

地震・大雨などの災害に対応するため、橋りょうの補修工事や道路の防災点検などを実施します。



安西橋の様子

- 【橋りょうの補修工事】(国) 362号(安西橋)など5ヶ所
- 【道路の防災点検】(県) 三ツ峰落合線(葵区玉川地区)の法面点検など

【6月補正整備内容】



■林道災害復旧事業…5,860万円

平成30年3月の大雨により崩落した林道の復旧事業を実施します。【工事箇所】林道東俣線(葵区田代)



崩落した林道東俣線

新しい施設が続々オープンしています

地域福祉共生センター「みなくる」



「みなくる」が整備された南部図書館(上) 地域交流スペース(右)

駿河区の南部図書館2階に、地域福祉と多世代交流を推進する「地域福祉共生センター」がオープンし、公募により愛称が「みなくる」に決定しました。施設内には、市民団体の活動を支援するための「地域交流スペース」が整備されたほか、事前予約により利用できる会議室(有料)が整備されています。

「みなくる」ではこんな事ができます

1. 地域・多世代の交流
大学の公開講座や大学生と連携して調査研究、ワークショップなどに参加
2. 健康づくり・健康の見える化
体組成計測定、ロコモ度測定、専門職による相談
3. 地域福祉の活動拠点
ボランティア、地域活動団体などの活動やミーティング。地域福祉推進のための市民講座やシンポジウムへの参加。等

駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション



ラン・アンド・リフレッシュステーション外観(左) 交流スペース(右上)・ロッカー更衣室(右下)

ランニングやウォーキングなどをする人たちの休憩施設として、「駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション」が葵区駿府町にオープンしました。シャワー、ロッカーを備えた更衣室があり、1回300円で利用できます。また、屋内の交流スペースと屋外のカフェスペースは無料で、軽食や飲物などの販売があります。

【アクセス】



(都) 下大谷線進捗状況

(都) 下大谷線は、新東名高速道路、東名高速道路、国道150号を結ぶ延長約11kmの広域交流ネットワークを担う都市計画道路で、南北軸を構成する重要な道路です。

大谷郵便局から北へ640m区間の整備が完了し、昨年度供用開始されました(右図緑線)。現在、広野大谷線までの残り230m区間を整備中で、H30年秋に完成予定です(右図青線)。

次期整備区間は、SBS通りまでの1.5km(右図赤線)。現在、幅員を20mから25mに変更する手続きを行っています。



整備完了箇所の状況

